

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

浦舟地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

【お三の宮地区】

地域住民に対してケアプラザの存在や機能を周知するために、5職種を中心として、町内会・地区社協・婦人部・老人会の事業や行事に参加しました。

スポーツ大会や防災訓練など、多世代が参加する行事もあり、ケアプラザの存在認知や機能理解を促すことができました。

ケアプラザの広報誌を3か月に1回発行し、町内会毎に回覧していただいています。また、地域の支援ネットワーク強化の取組として、民生委員の定例会への参加、地域ケア会議の開催、ケアマネジャー、サービス事業所や民生委員が参加する勉強会の開催等を行いました。

また、エリア内のサービス事業所の運営推進会議や医療機関主催の勉強会参加などにより、事業所との連携、介護医療の連携強化に取り組みました。

介護予防、健康づくりの取組として住民主体の活動グループ「元気サロンおさんのみや」の後方支援を行っています。29年度は会場変更が必要となり、その会場選定の支援も行いました。

また、高齢者食事会、クリスマス会、老人会等に出席し介護予防に効果のある体操や脳トレを実施するなど、住民の身近な場所で介護予防、健康づくりの取組を進めました。

元気づくりステーション「ハッピー脳トレウォーキング」の後方支援も継続して実施し、活発な活動が継続され地域資源として重要度がますます高まっています。

【寿東部地区】

お三の宮地区と同様に地域住民に対してケアプラザの存在や機能を周知するために、5職種を中心として町内会、地区社協、婦人部、老人会の事業、行事に参加しました。

ケアプラザの広報誌を3か月に1回発行し、町内会毎に回覧していただいています。

連合町内会と南吉田小学校の共同防災訓練では、南区社協とともにブースを設置し、災害対策の多言語版リーフレットの配布を行いました。

単身で身寄りのない方が多い地域であるため、南区高齢・障害支援課、生活支援課と常に連携し包括支援センターとの定例カンファレンスで情報共有するなどして支援を行いました。

また、成年後見制度の周知のために専門機関の講師による講座を開催するとともに、必要に応じて申請等の手続きの支援を行いました。

外国に縁のある住民への支援の一環として、ケアプラザ内に多言語版の包括支援センター案内チラシを掲示しています。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・総合相談窓口については、誰にでも分かり易く業務の内容を表記したチラシに作り直し、両連合町内会の会合において説明し、配布をしました。
- ・事務所内には常に最新の事業所情報を収集しファイリングし、必要時には的確な情報提供を行い、関係機関との連携を図っています。
- ・各種関係機関とは、日頃から連携、協力関係を構築しており、的確かつ迅速なサービス支援につなげています。ケアプラザ事業所内においても、部門間を超えてサポート体制を作り迅速な対応を行っています。

(3) 各事業の連携

- ・5職種連携会議を月2回開催に増回し、地域情報を共有し共通課題の認識を深めました。各職種の業務理解にもつなげ、地域支援の展開について共有することができています。
- ・包括・地域交流・生活支援の各事業の共催等により、各職種の視点を持ちながら、介護予防・趣味的交流による社会参加・地域支援を行うグループへの支援など、地域の福祉保健活動を多角的に支援しました。
- ・地域行事や会合、催し等については、各事業部門から参加しており、地区社協の活動内容についても把握しています。住民との交流や話し合いの中で出た内容については、記録し共有しています。
- ・職員会議において、事業所全体、また各部門の運営状況について認識し、適正な運営のために意見交換を行い、各部門で果たすべき役割を認識し実行しています。
- ・協議体の開催から地域資源づくりへの意識を持つ住民との意見交換を重ねる中で、より具体的な場づくりにつなげるべく、話し合いを継続しています。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・人員配置は常に適正に要件を満たして配置していることに加え、日々の業務において事務処理が煩雑かつ非常に多い状況に対応するため常勤の事務職員を独自配置しているほか、更に事務パートを2名（総合・デイ）配置し、適正かつ安定した運営につながっています。
- ・通所介護部門では、生活相談員の2名が新人で配置され、またスタッフについても募集への反応もなく欠員状態が続いたため厳しい運営となる状況もありましたが、採用年次別での研修や、フォローアップ研修、専門性を高める様々な研修へ参加し、常に質の高いサービス提供を行いました。
- ・職員、パートスタッフにおいて介護福祉士資格未取得の職員の3名が自己研さんとして法人主催の準備講座や研修に参加し、合格しています。費用減免等の助成、シフト調整によりこれをサポートし、更なるサービス向上を行いました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

・地区社協や各町内会、民児協や各種支援団体などの定例会には、5職種で参加し情報を共有しています。専門職としての観点を交え、情報を整理しながら、地域支援へつながる団体同士の関係構築を図っています。

・両連合地区の地区別計画推進のために積極的に関わり、地域課題やその解決に向けた取り組みについて、ケアプラザとしての役割を明確にし、地域と協働しています。

・各部門で開催している自主事業において、より専門性の高い内容の講座とすべく、公的機関や医療機関、専門業者の協力により開催しています。

・「うらふね納涼祭」を8月20日（日）に開催しました。開催13回目となり浦舟複合福祉施設内の連携はより深まっており、地域福祉啓発の協力体制も構築できています。今後も開催を続け地域に発展的な関係を築いていきます。

(6) 区行政との協働

・南区の区政運営方針は常に念頭に置きながら日常の業務に携わるようにし、各町内会や地域活動団体と連携を行ってきました。

・第3期南区福祉保健計画推進に向け、地域のアセスメントを根拠に、ケアプラザとして具体的な取り組みへの支援を行っています。各関係機関ともそれぞれの専門性を生かし、目標達成に向けて取り組んでいます。

・区、区社協、ケアプラザ3者での定例会を月1回開催し、それぞれが把握している地域情報について情報交換を行い、より実効性のある地域支援につなげていきました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・地域や参加者のニーズの変化を踏まえ、通年開催の事業の見直しを行いました。参加希望者の多い「歌声ひろば」は回数を増やし、月1回から月2回開催に変更。また、「お茶会」を「ふらっとうらふね」に名称変更し、様々な方が気軽に参加できるように「毎月第2金曜日」から「毎月25日」開催としました。

・通年開催の事業以外にも地域ニーズや地域からの提案・協力依頼を踏まえた1日みの事業（打楽器コンサート、人と動物のふれあいクラブぬくぬく 認知症サポーター養成講座、シニア向けスマホ講座、認知症の理解と予防～私たちに出来ること～）を開催しました。

・「精神疾患にかかわるご家族・支援者のためのコミュニケーション講座」や「やさしい障がい理解講座 2017in みなみ」（まるごとみなみ施設間連携事業）、「～地域での支えあい～ ころの風邪「うつ」について」（南区自殺対策事業）等の南区内施設や貸館登録団体等との連携事業を積極的に開催。ケアプラザの事業に初参加の方も多いため、ケアプラザの役割や自主事業の紹介を行い、周知の機会としています。

・28年度自主企画事業として月1回開催していた「初めての気功」を29年度に自主サークル化しました。スムーズに活動できるように名簿作成・役割分担等の運営や貸館予約に関する支援を行なっています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1 施設の積極的紹介

・ケアプラザを利用したことがない地域の方々に施設を紹介する機会を設けました。子育て世代向けには、通年事業の「ハニービー」「ハニーベイビー」の特別編や「打楽器コンサート」等の単発開催事業を土曜日に開催し、平日は参加が難しい父親等の家族も一緒に参加できるよう工夫しました。

・障がい児・者向けには、障がい児余暇支援事業「Ciao!」の開催に加え、南区学齢障がい児余暇支援事業「サマーフレンド」の会場としても利用していただきケアプラザの施設紹介の機会としました。

新たな障がい児・者団体の貸館団体登録にもつながりました。

・一般成人、健康な高齢者対象に「浦舟おとなの部活動 たのしみ部」として「大判きを焼いてみよう!」や「ケアプラザで餃子パーティー」等の事業を日曜日に計画、開催。ケアプラザの紹介や各種事業の案内を行いました。

2 イベント開催

・浦舟複合福祉施設全体のまつり（うらふね納涼祭）、「南区ボランティアフェスタ」（南区ボランティア連絡会・南区社協との共催）、「レインボーフェスタ」（中村地区の施設・区内障がい者作業所等 18 施設合同のまつり）への参加等、地域の方々が気軽に参加し、幅広くふれあうイベントを積極的に行いました。

・29年度の新たな取り組みとして「あいの木きょうしん・ひがしまいた」の職員と利用者を講師に招き、「障がい理解講座」（中村地区センター・南区さわやかスポーツ普及委員会・睦地域ケアプラザとの共催）を2月26日(月)に実施します。

・「まるごとみなみスタンプラリー」を継続開催しました。「ボランティアフェスタ」に加え、今年度は「うらふね交流スペース」も新たにスタンプラリーの対象とし、自主事業の周知の機会にもしました。

3 効率的な施設貸出の方法

・施設の空き情報を館内の掲示だけでなく、ホームページにも掲載し始めました。町内会館が建物の2階にある所が多いため、老人会等の集まる場所としての活用の提案を行い、貸館団体登録・利用が始まっています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1 ボランティア育成についての考え方

・ボランティアネットワーク会議に出席し、地域におけるボランティア活動の情報交換と現状把握を行い、ボランティア団体との協働の可能性を検討してきました。29年度は新規ボランティアを募集している団体と共催事業（「大判焼きを焼いてみよう!」）を開催。「ボランティアフェスタ」におけるボランティア団体のコラボ活動の後方支援を実施しています。

2 ボランティア育成の取組

・「よこはまシニアボランティアポイント事業」を周知、登録研修会をケアプラザでも開催し、ボランティア活動継続意欲を保つ一助としています。

・ボランティア活動希望者からの聞き取りを丁寧に行い、活動の場へ速やかにつなげるように支援しています。希望内容によっては、ボランティアセンターや近隣ケアプラザ、福祉施設を紹介する等連携しながら、コーディネートを行なっています。

・貸室利用団体のボランティア活動を支援するために、デイサービスの夏祭り、年末大掃除大会に加え、うらふね納涼祭の準備・片付け、イベントでの「うらふね café」の運営等活動の機会を増やしました。また、地域のサロンや町内会の公園清掃等ボランティア活動の場の紹介を行なっています。

また、ボランティア活動の場やボランティア交流会において、活動の情報交換や交流の機会を作り、新たな活動の場の発掘やボランティア活動の動機付けの機会としています。

・浦舟特別支援学校のボランティア活動支援を始め、近隣の小中学校・高等学校の見学や職場体験、デイサービスのレクボランティア等を積極的に受け入れています。

・日枝小学校、南吉田小学校にて福祉教育（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症サポーター養成講座）を実施し、地域の高齢者との交流・ボランティアの機会を提案しています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・地域における各関係機関の会合や各団体の催しに積極的に参加。サロン等では地域の方の声を積極的に聞き、情報収集に努めました。

・両地区の民児協には、5職種で担当し毎月出席し、活動の進捗や地域の状況について、最新の情報を収集しました。また、ケアプラザの事業開催の案内も随時行い、情報提供に努めました。

・貸館登録団体の活動状況をパネル展示しています。内容が最新の情報になるように見直し、随時更新を行っています。来所者のご希望に合う活動を探す際にご利用いただいています。

また、通年の事業や特別プログラムは、その都度ポスターやチラシ館内の見やすい場所に掲示。地域のイベント、自主事業でのチラシを配布や各町内会での回覧依頼も行なっています。

・ホームページ更新頻度を増やし、最新の事業開催の情報や当月の貸室の空き状況を掲載しました。若い世代の方や、多忙な方にも活用していただけるよう少しずつ情報量を増やし提供しています。

・地域の方に向けた広報紙「うらふね丸」を3か月に1回、ミニ広報紙「ミニうらふね丸」を毎月発行し、地域住民や各関係機関に対して、情報提供を行いました。広報誌には職員が参加した地域の行事等も掲載し、地域行事の情報提供とケアプラザ職員と地域の関わりを知っていただく機会にもしています。

・お三の宮・寿東部両地区の社会福祉協議会が発行する広報誌への投稿や編集会議に参加し、地域住民へ広く地域福祉保健活動や地域ケアプラザの機能や役割を伝える機会を作っています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

・委託部門の5職種間で月2回の定例会議を開催し、地域情報や課題意識の統一化を図り、支援の方向性や目的について共有し、それぞれの専門性を活かした事業展開につなげています。

・生活支援体制整備事業に理解のある市民活動グループや民間企業との連携事業を進めていく中で、地域特性や課題、ニーズについて認識を深めることができています。第1層や連絡会の場において、取り組み内容について共有し、区域レベルでの展開や支援につながる内容についても検討していきます。

・うらふね交流サロンの参加者同士は趣味を通じた交流は深まっています。今後メンバーを増やししながら、自主活動への意欲が高まるような支援を行っていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・当法人で作成した地域アセスメントシートを用い、5職種間で定期的に最新の情報共有と更新作業を行いました。また南区役所の担当者とも協働しながら、地域情報を共有しました。

・地域主体で行われる催しや会合、会議等には積極的に参加し、各町内会の新たな担い手の発掘や人間関係の構築に努めました。また、老人会の場を中心にアンケートを実施し、地域の状況や課題について認識を深め、生活支援のニーズを把握していきました。

・うらふね交流スペースの利用者からは、生活者としての視点からの発言をいただくことで、必要とされる支援内容について、意見交換ができる場になっています。

(3) 連携・協議の場

・お三の宮地区における協議体として、「お三の宮支えあいのまちづくり推進連絡会」を発足させ、3回の議論を行い、4回目には集い・交流する場のイメージを具体化するためコーヒーを淹れる作業の体験会も行っています。「男性の活動・活躍の場の創出」をテーマに、具体的な場づくりについて検討を重ねています。

・うらふね交流スペースでは、参加者同士が趣味を通じ親交を深め、新たな関係構築の場にもなっています。また、生活者目線での多くの意見にも触れ合える貴重な場にもなっています。この場で関係が構築できた仲間同士で、自主活動グループ化やボランティア活動に意識を高められるように関わりを続けていきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・区生活支援C○連絡会では、各担当者からそれぞれの地域情報や取り組みを共有し、区域での動きが担当エリアにも還元できる内容であったり、現在動いている地域展開が他のエリアに有効であれば、積極的に事業に関わりながら、情報提供も行っています。

・地域支援に関心の高い「老後をプロデュース」のメンバーと、共催事業を開催しました。地域ニーズの掘り起こしから、具体的な支援の形を模索しています。この事業には、民間企業（パルシステム神奈川ゆめコープ）の協力の元、生活者目線でのアドバイスをいただきながら、これからの事業展開について議論を重ねています。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・南区生活支援センターとの顔の見える関係づくりを目的に、南区包括の社会福祉士として連絡会に参加しました。互いの業務理解につながりました。
- ・精神障害者就労支援事業者からの依頼にて、40名程度の当事者向けの講座を実施。介護保険制度、包括支援センター、地域ケアプラザについての説明を行いました。
- ・担当エリア内のケアマネジャーと通所介護事業所同士、顔の見える関係づくりを行い地域の支援者のつながりが一層強くなりました。
- ・地域ケア会議を通し、専門職であるケアマネジャーが地域の特性や課題把握を共有することでケアマネジャー同志、強いネットワーク作りの第一歩となりました。
- ・南区在宅医療連携拠点等と協力し、多職種連携会議や事例検討会に積極的に参加し、地域の医療、介護の連携を強化しました。
- ・地域の小規模多機能型居宅介護事業所や地域密着型通所介護等の運営推進会議に出席し、地域の社会資源の連携強化を図りました。

② 実態把握

- ・地区社協、町内会、老人会、婦人部、保健活動推進員、民生委員等、多岐にわたる関係者が携わる事業、行事に積極的に参加し地域の実態把握に努めました。
- ・地域アセスメントシートを活用し、5職種で地域の実態把握に努めました。
- ・地域ケア会議では、地域性についてケアマネジャーとの情報交換を行うことで実態把握を行いました。

③ 総合相談支援

[29年度実績] 相談 1,702件 訪問 342件

- ・相談/訪問数が合計で前年度より185件（要支援者を含む）増えています。
そのため、包括職員不在時には、他職種（地域交流CO、生活支援CO、居宅介護支援職員）でも対応し、連携を生かした支援を心掛けて実施しました。また、緊急判断訪問など迅速な対応を心がけました。
一方で、高齢・独居・身寄りなし等、調整が難しく時間を要すケースも多い中、今後の支援やネットワーク構築に生かすべく地域ケア会議を通してケアマネジャーとの情報交換、情報共有を行いました。
- ・南区役所の担当職員（高齢障がい、生活支援）、南区社協、医療機関相談員、民生委員等との連携により支援に取り組みました。
- ・障害者等の高齢者分野以外への連携が必要なケースに対しては、基幹相談支援センター、生活支援センター等関係機関との連絡、情報提供、同行訪問を行いました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・司法書士による相続・遺言・任意後見制度に関する市民向け講座を実施し、併せて無料個別相談会も開催しました。

また、法テラスの無料相談会も実施していますが、実際に制度活用に関わった方の報告もありました。

2月には南区社協との共催により法定後見制度についての講座を開催します。

・消費者被害防止を目的として、高齢者向けサロンの場で、南警察署生活安全課からの情報提供と注意喚起を実施していただきました。

また、民生委員の定例会でも南区の被害状況などを知らせ、活動に役立てていただくようにしました。

② 高齢者虐待への対応

・「うらふね介護者くらぶ」の中で、介護の実際の行為について、その悩みを話しやすい場となるように心がけました。参加者同士の励まし合いにより、虐待の未然防止に繋がっていると捉えています。

・民生委員・児童委員協議会定例会の場において、虐待には“介護の抱え込み”“認知症の介護の大変さ”“熱心な介護”などが考えられるなど、実例からの情報提供を行い、早期相談について周知しました。

・浦舟デイサービス職員向けに虐待勉強会を実施したことから、職員の気づきによる情報提供があり、対応につながりました。

・虐待予防を目的として、特養介護福祉士による介護術や、訪問入浴のデモンストレーションを講座開催し、介護負担軽減となり得る情報提供の場を提供しました。

③ 認知症

・認知症の方と介護者の方が参加できる「うらふね介護者くらぶ」について、相談受付時や、デイサービス家族会、ケアマネジャーに案内しました。南区の介護者のつどい一覧も周知しています。

・徘徊の相談時には家族や、ケアマネジャーに南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワークの情報提供を行いました。

・地域の認知症キャラバンメイトと協力し、地域住民、民生委員、小学生等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と地域で支える環境づくりを進めました。また認知症予防にかかる事業として、ケアプラザ協力医による講演会は参加型で地域の方向けに認知症啓発ができました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・地域住民、関係機関との連携強化のため、民生委員の定例会や地区社会福祉協議会の振り返り会議、地域の行事等に積極的に参加しました。地域の方々のケアプラザ機能に対する理解が進んできています。

・担当エリア内のケアマネジャーと通所介護事業所と連絡会を行ったことで、地域の事業所のつながりが一層強くなるとともに、各ケアマネジャーにおけるエリア内通所介護事業所の特徴の把握を支援することができました。

・南区との調整の中で地域関係者が参加しない形式での地域ケア会議となりましたが、ケアマネジャーレベルにおいて浦舟エリアの個別特性から地域の課題を読み解くための支援とすることができました。

② 医療・介護の連携推進支援

・ケアプラザの協力医とエリア内ケアマネジャーの連絡会を開き、医療の相談が気軽に出来る環境づくりを行い、連携推進を図りました。

・南区在宅療養支援ネットワーク会においては、南区内の医療・介護の関係者の会議や研修に出席し、多職種間の連携を図り、関係職種で問題解決を行うための顔の見える関係作りを行いました。

③ ケアマネジャー支援

・ケアマネジャーからの相談を随時受け、困難ケースについては、区役所とのカンファレンスで報告し、区役所担当者、区社協（あんしんセンター）職員、民生委員、医療機関等と連携し、支援しました。

・新任ケアマネジャーは南区で18名の受け入れ、新任ケアマネジャーに必要な研修や施設見学等を行い継続的にサポートを行いました。また新任ケアマネジャー同士、横のつながりも大切に支援を行いました。

・担当エリア内のケアマネジャーの参加を呼びかけケアマネジャー同士の横のつながりが一層強くなるように顔合わせを行いました。またケアマネジャーの得意、不得意等の把握や情報交換が図れました。

・ケアマネジャーと通所介護の事業所と顔合わせを行い地域の支援者の連携推進を行いました。

また通所介護のシートを作成し、各15事業所の紹介をしてもらいケアマネジャーが業務に役立つように支援を行いました。

・南区の8包括協働にて事例検討会を開催し、事例検討とはとインシデントプロセス法による事例検討会の理解を深め実施することで事例をケアマネジャーが共有して考えることで具体的な支援に結びやすくケアマネジメントの質の向上につながりました。

・南区ケアマネジャー連絡会「あったかネット南」と区役所、包括と連携し、「インテークの基本 話を引き出す面接技法」の共催研修を

行い南区のケアマネジャーの質の向上を目指しました。
またあつたかネット南が主催する研修に参加し、ケアマネジャーと情報共有を図り連携強化を図りました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・南区在宅療養支援ネットワーク会では、医療、介護関係者と在宅療養連携上の課題や対策等の検討会を行う会議に参加し多職種連携の強化を図りました。また多職種の事例検討会では積極的に参加しネットワークの構築を図りました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

・ケアプランにインフォーマルサービスが取り入れられるよう、ご本人やケアマネジャーに対し、担当者会議等で情報提供をしていきました。
また、委託先のケアマネジャーに対し、介護予防の重要性について、実技を取り入れて研修を実施しました。地道な活動ですが、ご理解をいただいております。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・介護予防教室を寿東部地区では有料老人ホームの食堂で、お三の宮地区では日枝東部町内会館で実施。参加しやすいよう、身近な場所で開催しました。

・介護予防ボランティアに向け、2回スキルアップ講座を開催、モチベーション向上及び仲間作りの場として活用してもらいました。

・ハッピー脳トレが毎週火曜日の午前で地域住民に周知され、参加人数も毎回50名を超えるようになり、地域資源として定着してきています。

・元気サロンおさんのみやの会場を、受け入れ良好のグループホームの会議室へ10月から移動しました。グループホームの入居者の方も体操に参加し、地域住民との交流の場にもなりました。

・脳トレ in 真金が毎回15名程度の参加者があり、地域に定着してきています。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・地域の方々が安心して安全に施設をご利用いただけるよう、建物管理委託業者と連携し定期点検や衛生管理を実施するなど適切な建物管理を行いました。
- ・館内入口や洗面所に手指消毒液を設置するなど感染症予防にも注意を払い、手洗い、うがいの徹底を職員が励行し、お客様に対しての呼びかけもポスター等で行いました。
環境整備を行う職員を配置し、細かい部分まで衛生管理を徹底しました。
さらに感染症発生時にも職員が迅速、的確に対処できるよう研修や訓練を行いました。
- ・建物および設備で修繕が必要な箇所は施設運営に支障が出ないように早急に対応しました。
今年度を実施した修繕は、「厨房関連」「火災感知器」「誘導灯」「GHP」「天井灯」等です。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・労務、経理等の事務を行う事務職員を専任として法人独自に配置し、業務の効率化を図りました。
- ・総合相談件数等の管理や、介護保険請求、業務記録についての専用システムを活用し、業務の効率化を図りました。
- ・法人内の地域ケアプラザ所長会や、各職種の担当者会議で効率的な運営に関する情報共有を行いました。
- ・法人のスケールメリットを生かし、リース車両、リースパソコンの一括入札を行うことで、経費削減を図りました。
- ・複合福祉施設内の管理委員会で担当を定め、全館の効率的な運営への取組みを図りました。

(3) 苦情受付体制について

- ・事業所で苦情受付担当者、苦情解決責任者を定め、法人の苦情解決規則に則り、お客様からのご意見、ご要望、苦情に対応しました。
- ・ケアプラザ内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでもご意見などを受付できるようにしています。苦情、ご意見を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、対策を講じるなど、今後も再発防止に努めます。
- ・法人内ケアプラザ所長会で苦情を共有し、ケアプラザにおいて、サービスの質的向上に反映しました。
- ・事業毎にお客様アンケートを実施し、改善、発展につなげました。

・法人では公正・中立の立場から、あつせん、調整を行う第三者委員制度を設けています。今年度は第三者委員制度に繋がる事例はありませんでした。
今後も適切な苦情解決に向けて継続して取り組みます。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

・防犯対策として、日中は職員が巡回を行い、夜間は職員が最終確認を行った後、機械警備を行っています。なお、当複合福祉施設は1階の総合防災センターに24時間スタッフが常駐し緊急時に対応しました。

・災害発生時に速やかに対応できるよう、防災対応マニュアル・消防計画等を策定しています。さらに独自に地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り迅速的確に対応するため、法人内の全事業所で業務継続計画（BCP）を整備し、適正な対応に備えました。

・年2回の自主防災訓練を継続実施して、緊急時に職員がマニュアルに添った対応がとれるよう災害時の体制を整えました。

複合福祉施設全体としても、年間各1回の全館合同の防災・防火訓練を継続実施して、各施設が協力して災害時の対応が出来るように体制を整えています。

・特別避難場所として、応急備蓄物資の数量や保管状態の確認を行い、災害時に有効に機能するための体制を維持しました。また、法人独自に行っている各事業所への物資の備蓄を継続しました。

・法人として、平成18年1月に横浜市と災害時相互援助協定を締結しており、災害ボランティアヘルパーとして、援助可能なボランティアを有しています。

(5) 事故防止への取組について

1 事故防止の取組

・事故に至らなかった事例についても積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めました。

・定期的な研修を実施し、リスクマネジメントの取組を強化しました。

・リスクマネジメントの視点での環境整備を行うとともに、介護保険サービス提供においては、朝のミーティングや申し送りノート等でお客様の心身状況の把握とスタッフ間の情報共有を図りました。

2 再発防止のための対策

・再発防止に向けて、迅速に事故の状況分析や原因究明を行いました。

・再発防止対策を検討し、改善等を実施した後、横浜市・南区役所・法人本部へ報告を行いました。

・法人内ケアプラザ所長会で適宜、事故事例の検討を行い、ケアプラザにおいて、事故発生予防、再発防止の取組に反映しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・当法人では「個人情報保護規程」を定めており、各事業所で個人情報の管理に関する責任者と担当者を定め、管理体制と責任を明確にし、個人情報の保護に取り組みました。
- ・全職員に対し、年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し、緊張感を持って個人情報を取り扱うように周知、徹底しました。
- ・実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管しています。業務上持ち出しが必要な場合には専用バッグを用いて紛失や漏えいのないよう最小限の情報のみとし、持ち出し返却の確認簿により管理を徹底しました。
- ・個人情報の漏洩防止のため、郵便物の発送やFAX送信などの際には、複数の職員で必ずダブルチェックをした後に記録を行い、FAX送信の際は氏名等にマスキングをするなど管理を徹底しました。
- ・広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面や口頭で了承を得て掲載しました。
- ・個人情報を含む伝言メモは机上に放置せず、伝言メモ用ファイルの活用や施錠できる保管庫を使用して伝達するなど、具体的な保護対策を実施しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ホームページの公開やパンフレット・チラシの配布を通し、地域の皆様に当法人・当ケアプラザを知って頂き、信頼を得られるように努めました。
- ・横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は「情報公開規程」を定めています。
- ・法人の概要、サービス内容、財務状況（予算・決算等）、事業計画、事業報告、ケアプラザの施設運営情報等については、法人のホームページでいつでも閲覧できるように公開しています。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ケアプラザを利用いただく全てのお客様の人権を尊重して対応しました。
- ・法人で主催する人権研修を職員が受講しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1 ヨコハマ3R夢【スリム】プランの推進

- ・省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行しました。
- ・資源ゴミの徹底した分別収集に協力し、ペットボトルのエコキャップや空き缶のプラタブ回収を地域にも呼びかけ、収集したものはエコ活動につなげました。

2 省エネルギー対策

・毎年、電力消費がピークとなる夏季には軽装（クールビズ）で、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛け、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、省エネルギーに努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 保健師：1名（兼務） 社会福祉士：2名
主任介護支援専門員：1名 介護予防プランナー3名

《目標に対する成果等》

- 1 お客様が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けることができるように、お客様の意思及び人格を尊重し介護予防プランを作成し、設定された目標が達成できるように支援しました。
- 2 お客様やご家族の主体的な参加を促すとともに適切な保健、医療、介護サービスが提供されるよう、マネジメントしました。
- 3 地域のインフォーマルサービスを把握し、積極的に適正にプランに位置付けました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託する介護予防支援業務については、お客様に対して十分に説明し、お客様の選択を尊重した上で、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に依頼しました。
- 2 地域ニーズに適合した人員を確保し、介護予防ケアプラン作成者の専門性を高め、質の向上を図るために、定期（年1回以上）に研修を実施しました。
- 3 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。
- 4 医療機関が多い地域であるため、入院加療を終えたお客様の退院後の在宅生活支援を行う際には、医療従事者と密接な連携を行い、在宅生活を継続していただけるように早い段階から支援しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
204	215	199	202	201	206
10月	11月	12月	1月	2月	3月
212	219	223	220	217	222

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 介護支援専門員常勤：1名（兼務）
介護支援専門員常勤：1名（専従） 介護支援専門員非常勤：2名（兼務）
介護支援専門員非常勤：1名（専従）

《目標に対する成果等》

1 要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、一人ひとりの能力や状態、解決すべき課題（ニーズ）を的確に把握し、心身の状況や環境等に応じた適切なサービス提供に努めました。

- (1) 自立支援（身体的自立・精神的自立）
- (2) 認知症支援
- (3) 医療連携
- (4) 自己実現（QOLの向上）
- (5) 家族支援（レスパイトケア）

2 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。

3 要介護者へ質の高いケアマネジメントを実施するために、地域のさまざまな関係機関とネットワークを構築し、地域に根ざした信頼される事業所となるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1 ケアプラザ内の事業所という特色を生かし、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）との連携も密にしながら、きめ細やかな対応をました。

お客様の状態に応じて、ケアプラザで実施している事業等のインフォーマルサービスをケアプランに積極的に位置付けました。

2 定期的に、法人本部にてケアマネジャー担当者会議を開催し、情報交換や制度理解、ケアプラン作成研修、業務改善等に取り組みました。

3 「自立支援」「認知症支援」「医療連携」に強いケアマネジャーを育成するために、テーマ別の勉強会や研修を実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	81	82	85	87	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	90	93	93	89	90

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤個別機能訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1	1割負担分		
	(要介護1)	692円	(2割負担の場合 1,383円)
	(要介護2)	817円	(2割負担の場合 1,634円)
	(要介護3)	947円	(2割負担の場合 1,893円)
	(要介護4)	1,077円	(2割負担の場合 2,153円)
	(要介護5)	1,206円	(2割負担の場合 2,412円)
2	個別機能訓練加算	60円	(2割負担の場合 120円)
3	入浴加算	54円	(2割負担の場合 108円)
4	口腔機能向上加算	161円	(2割負担の場合 322円)
5	サービス提供体制加算 I 1	20円	(2割負担の場合 38円)
6	中重度者ケア体制加算	49円	(2割負担の場合 97円)
7	食費負担	650円	
8	介護職員処遇改善加算	ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金	

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員4名 介護職員23名 看護職員4名 運転手6名

《目標に対する成果等》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。
- 地域にある保育園の園児の訪問や、小学生、中学生、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティアさんの訪問も多く、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんでいただきました。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
589	640	608	606	635	596
10月	11月	12月	1月	2月	3月
637	621	570	485	578	672

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの介護予防通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤運動機能向上訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1	1割負担分		
	(要支援1)	1,766円	(2割負担の場合 3,531円)
	サービス提供体制加算	78円	(2割負担の場合 155円)
	(要支援2)	3,621円	(2割負担の場合 7,241円)
	サービス提供体制加算	155円	(2割負担の場合 309円)
2	食費負担	650円	
3	生活機能向上加算	108円	(2割負担の場合 215円)
4	運動器機能向上加算	242円	(2割負担の場合 483円)
5	口腔機能向上加算	161円	(2割負担の場合 322円)
6	介護職員処遇改善加算	ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金	

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員4名 介護職員23名 看護職員4名 運転手6名

《目標に対する成果等》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。
- サービス利用時にも洗濯物やおしぼりをたたんでいただくなど、役割を持って過ごしていただけるよう、工夫しました。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
73	79	79	92	104	108
10月	11月	12月	1月	2月	3月
111	116	97	90	83	108

**平成28年度「浦舟地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,240,626	4,327,679	18,568,305	18,568,305	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	284,450	△ 284,450	事業参加費収入
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	817,868	△ 817,868	
印刷代	0		0	114,110	△ 114,110	コピー代収入
自動販売機手数料	0		0	697,818	△ 697,818	自動販売機売上収入
駐車場利用料収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	5,940	△ 5,940	公衆電話通話料収入
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,090,561		1,090,561	1,090,561	0	
収入合計	19,321,187	4,327,679	23,648,866	24,751,184	△ 1,102,318	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,877,468	107,959	
本俸	8,374,113		8,374,113	8,011,063	363,050	俸給
社会保険料	1,139,445		1,139,445	1,112,408	27,037	社会保険料
手当計	2,218,650		2,218,650	2,382,916	△ 164,266	諸手当
健康診断費	39,138		39,138	53,562	△ 14,424	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	205,825		205,825	305,938	△ 100,113	退職共済掛金
その他	8,256		8,256	11,581	△ 3,325	ハマふれんど
事務費	940,000	0	940,000	1,924,553	△ 984,553	
旅費	12,270		12,270	12,267	3	出張旅費
消耗品費	25,509		25,509	26,760	△ 1,251	トレットペーパー・ゴミ袋等・紙コップ等
会議随費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	169,904		169,904	158,873	11,031	コピー・カレント料・インクカートリッジ代・年賀状印刷費
通信費	333,849		333,849	431,082	△ 97,233	固定電話・公衆電話・フAX・FAX回線 等
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
横浜市への支払分	0		0	8,400	△ 8,400	屋外自販機目的外使用料
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	273,825	△ 273,825	PCリース契約・シュレッダー・デジタル複合機
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	17,400		17,400	17,400	0	保険料
職員等研修費	9,683		9,683	7,982	1,701	研修費・研修交通費
振込手数料	10,645		10,645	10,645	0	振込手数料
リース料	330,863		330,863	57,215	273,648	SWING会計ソフト・リース料・ADホー・リース料 等
手数料	21,477		21,477	21,357	120	EBサービス利用手数料・残高証明書発行手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	8,400		8,400	898,747	△ 890,347	PCリース契約・保険衛生費・レンタル料 等
事業費	1,712,000	0	1,712,000	628,133	1,083,867	
運営協議会経費	42,000		42,000	24,557	17,443	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,670,000		1,670,000	603,576	1,066,424	事業費
管理費	3,724,926	4,327,679	8,052,605	8,330,794	△ 278,189	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	なし
光熱水費	1,383,399	0	1,383,399	1,994,371	△ 610,972	光熱水肥
電気料金	367,984		367,984	530,550	△ 162,566	
ガス料金	361,067		361,067	520,072	△ 159,005	
水道料金	654,348		654,348	943,749	△ 289,401	
清掃費	64,502		64,502	64,502	0	一般廃棄物回収費
修繕費	114,626	4,327,679	4,442,305	4,442,305	0	予算・指定額
機械整備費	189,638		189,638	208,828	△ 19,190	機械整備契約料
設備保全費	0	0	0	64,653	△ 64,653	
空調衛生設備保守	0		0	64,653	△ 64,653	カステン保守契約料
消防設備保守	0		0	0	0	なし
電気設備保守	0		0	0	0	なし
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	なし
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	0		0	0	0	なし
共益費	0		0	0	0	なし
その他	1,972,761		1,972,761	1,556,135	416,626	建物管理業務委託費他
公租公課	958,834	0	958,834	950,197	8,637	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	950,197	8,637	消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,321,187	4,327,679	23,648,866	23,711,145	△ 62,279	
差引	0	0	0	1,040,039	△ 1,040,039	

自主事業費収入	1,670,000		1,670,000	284,450	1,385,550	予算・指定管理料を含む
自主事業費支出	1,670,000		1,670,000	603,576	1,066,424	事業費
自主事業収支	0	0	0	△ 319,126	319,126	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	697,818	△ 697,818	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	8,400	△ 8,400	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	689,418	△ 689,418	

平成29年度「浦舟地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,906,466	0	22,906,466	22,906,466	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	なし
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	0
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	0	0	なし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	なし
その他(提案時控除 法人負担分)	1,515,993		1,515,993	1,515,993	0	
収入合計	30,362,459	0	30,362,459	30,362,459	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	31,719,615	△ 4,243,322	
本俸	13,841,724		13,841,724	16,593,034	△ 2,751,310	俸給
社会保険料	4,276,896		4,276,896	4,270,454	6,442	社会保険料
手当計	8,700,183		8,700,183	10,197,751	△ 1,497,568	諸手当
健康診断費	12,284		12,284	44,382	△ 32,098	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	617,450		617,450	584,063	33,387	退職共済掛金
その他	27,756		27,756	29,931	△ 2,175	ハマふれんど
事務費	332,000	0	332,000	1,560,754	△ 1,228,754	
旅費	0		0	22,786	△ 22,786	出張旅費
消耗品費	0		0	26,760	△ 26,760	トレットペーパー・ゴミ袋等・紙コップ等
会議購い費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	0		0	143,724	△ 143,724	コピー・カウント料・インクカートリッジ代・年賀状印刷
通信費	0		0	294,499	△ 294,499	固定電話・公衆電話・パソコン回線・モデム・インターネット・ADSL回線及びプロバイダ費用・宅急便
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	なし
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	0	0	なし
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	17,400		17,400	17,400	0	保険料
職員等研修費	0		0	13,191	△ 13,191	研修費・研修交通費
振込手数料	0		0	10,645	△ 10,645	振込手数料
リース料	293,123		293,123	51,306	241,817	SWING会計ソフト・リース料・ADサービス料 等
手数料	21,477		21,477	21,357	120	EBサービス利用手数料・残高証明書発行手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	0		0	959,086	△ 959,086	PCリース契約・保険衛生費・レンタル料 等
事業費	1,564,000	0	1,564,000	453,094	1,110,906	
協力医	252,000		252,000	252,000	0	予算;指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	852,000		852,000	8,419	843,581	事業費
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,569	△ 569	予算;指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	41,106	267,894	予算;指定額
管理費	990,166	0	990,166	1,064,111	△ 73,945	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算;指定額
光熱水費	360,032	0	360,032	530,148	△ 170,116	光熱水費
電気料金	95,769		95,769	141,032	△ 45,263	
ガス料金	93,968		93,968	138,247	△ 44,279	
水道料金	170,295		170,295	250,869	△ 80,574	
清掃費	17,146		17,146	17,146	0	一般廃棄物回収費
修繕費	30,466		30,466	30,466	0	予算;指定額
機械警備費	50,408		50,408	55,509	△ 5,101	機械警備契約料
設備保全費	17,186	0	17,186	17,186	0	
空調衛生設備保守	17,186		17,186	17,186	0	カストン保守契約料
消防設備保守	0		0	0	0	なし
電気設備保守	0		0	0	0	なし
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	なし
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	0		0	0	0	なし
共益費	0		0	0	0	なし
その他	514,928		514,928	413,656	101,272	建物管理業務委託費他
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
リース対応費	0		0	0	0	
支出合計	30,362,459	0	30,362,459	34,797,574	△ 4,435,115	
差引	0	0	0	△ 4,435,115	4,435,115	

自主事業費収入	1,312,000			0		予算;指定管理料に含む
自主事業費支出	1,312,000			201,094		事業費
自主事業収支	0			△ 201,094		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:浦舟地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	認知デイ
収入	介護保険収入	12773	12464	89093	24588
	その他	152	506	790	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0
	認定調査収入	0	506	0	0
	原案作成委託料	152	0	0	0
	食費収入	0	0	678	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	112	0
	収入合計(A)	12925	12970	89883	24588
	支出	人件費	6070	16210	64422
事務費		5933	1645	6181	2452
事業費		0	289	7331	1953
管理費		0	0	6102	1495
その他		0	0	677	0
利用者負担軽減額		0	0	0	0
消費税		0	0	0	0
介護予防プラン委託料		0	0	0	0
職員食事代		0	0	677	0
		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
支出合計(B)	12003	18144	84713	23477	
収支 (A) - (B)	922	-5174	5170	1111	

平成29年度 自主事業報告書

横浜市浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あつまれ！ ハニービー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放（未就園児） 第1（金）親子ふれあい体操	毎月第1・3・5（金）午前 7月29日（土） 全28回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あつまれ！ ハニーベイビー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放（月齢児） 第3（金）ママ達への癒しの時間	毎月第1・3・5（金）午後 7月29日（土） 全28回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
PCルーム開放	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCのフリースペース開放	毎月第1・3（火） （休館日は休み） 全21回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふねPC相談室	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCボランティアによる高齢者向けのパソコン相談室	毎月第2・4（木） 全24回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声ひろば	目的：閉じこもり予防、認知症予防、地域交流 内容：ギターボラによる懐メロ・唱歌の会	4月・5月 月1回 6月～3月 月2回 全20回 (8月休み)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふらっとうらふね	目的：閉じこもり予防、地域交流 内容：各種イベントとおしゃべり	毎月25日 全11回 (8月休み)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
えんがわ倶楽部	目的：囲碁・将棋・オセロを趣味とする地域住民相互の交流機会を作る。高齢者や学生との異世代交流。 内容：囲碁・将棋・オセロを準備した部屋を出入り自由に開放	毎月第2・4(土) 全24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室(第19期)	目的：認知症予防、地域交流、閉じこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	H29年4月6日 ～H29年8月31日 毎週木曜日 全22回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室（第20期）	目的：認知症予防、地域交流、閉じこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	H29年9月28日 ～H30年3月1日 毎週木曜日 全22回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニア向けスマホ講座～これから購入の方向け	目的：浦舟地域ケアプラザの周知、地域高齢者のIT支援 内容：KDDIスマホ・ケータイ安全教室の講師を迎え、これから購入を考える方がスマートフォンの基本操作を学ぶ。	H29年4月5日(水) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
精神疾患にかかわるご家族・支援者のためのコミュニケーション講座	目的：浦舟地域ケアプラザの周知、「SST」というコミュニケーション方法に焦点を当て、精神疾患の理解を深め、共感的支持的なサポートのスキルアップを図る 内容：「SST」（社会生活技能訓練）の技法を使ったコミュニケーション講座	H29年6月17日(土) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	目的：ボランティア育成、地域交流 内容：よこはまシニアボランティアポイントカード取得のためのボランティア研修会	H29年7月3日(土) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふね納涼祭	目的：浦舟複合福祉施設の周知、地域交流 内容：模擬店、フリーマーケット、ステージ発表、各種イベント他	H29年8月20日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レインボーフェスタ	目的：施設の周知と近隣施設との交流 内容：浦舟・中村地域の福祉関係施設の共催事業。中村小学校や中村地区センターなどを会場に模擬店やイベントを実施。浦舟地域ケアプラザは中村地域ケアプラザと共同でフリマ運営。	H29年9月23日(土) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大判焼きを焼いてみよう！	目的：南区ボランティア連絡会やケアプラザの周知 南区大判焼きグループの担い手や活動場所の発掘 南区大判焼きグループとの共催事業 内容：南区内で活動するボランティア団体の活動内容を体験し、新規担い手の発掘の場とする。南区大判焼きグループの出店イベントを紹介することで地域の祭り・イベントの周知も図る。	H29年9月24日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活支援学習会	目的：浦舟地域ケアプラザの周知、ご家族、支援者、関係機関職員を対象とし、精神疾患のある方が地域で生活するための支援していく環境づくりの一助とする。南区福祉保健センター・南区生活支援センターと共催。 内容：精神疾患のある方への関わり方を中心に、病気の症状や治療等についての基礎知識を学ぶ。	H29年11月12日(日) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年末大掃除大会	目的：貸室登録団体同士の交流 内容：ケアプラザの大掃除を通して、各団体の交流を図る	H29年12月26日(火) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
打楽器コンサート こころに響く打楽器作っちゃお♪	目的：子育て中の親子に住み慣れた地域内の施設で生の音楽やアートに触れる機会を作る。子育て世代へのケアプラザと近隣子育てサロン等の周知。 NPO法人 打楽器コンサートグループ・あしあとと共催 内容：「ヨコハマアートサイト2017」の一事業として実施。親子で太鼓を作り、コンサート中に作った太鼓を使って演奏に参加する。プロの使用する打楽器に実際に触れ、音を鳴らし体験する。	H30年1月13日(土) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部活動 たのしみ部 「ケアプラザで餃子パーティー」	目的：閉じこもり予防、多世代交流、ケアプラザ周知 内容：地域住民からの料理教室希望のニーズに応える形で実施。子どもから高齢者まで会話をしながら、楽しく一緒に調理し食べることで、各世代の調理の工夫の情報交換や顔をつなぐ機会とする。	H30年1月28日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こころの風邪 「うつ」について	目的：地域住民や参加者の精神疾患についての理解を深め、自殺予防対策につなげる。南区役所・南区生活支援センターと共催。 内容：うつ病の症状やセルフチェック、うつ病の人との関わり方について医師の講演により学ぶ。また地域の相談窓口や支援内容を周知する。	H30年2月9日(金) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
南区ボランティアリーフェスタ	<p>目的：地域で活躍するボランティア団体が体験や展示で活動を紹介し、幅広い世代にボランティア活動を知ってもらい、興味をもってもらえる機会とする。</p> <p>内容：ボランティア活動紹介と発表及び参加者同士の相互交流</p>	H30年2月18日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
やさしい障がい理解講座2017inみなみ Part.2 「知的障がい・発達障がいを知ろう」	<p>目的：地域における障がい理解の啓発活動、地域住民と障がい者の交流の機会提供、近隣施設・事業所の連携を深める。南区役所・中村地区センター・南区さわやかスポーツ普及委員会・睦地域ケアプラザと共催。</p> <p>内容：障がいの種類と特徴を知り、コミュニケーション方法を学ぶ。地域住民が障がい者の声を直接聞くことで理解を深める。</p>	H30年2月26日(月) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>目的：ボランティアの交流、ボランティアの活動発表</p> <p>内容：ケアプラザや地域で活動しているボランティアの顔合わせ、交流、様々なボランティア活動を知る。</p>	H30年3月18日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Ciao! 障がい児余暇支援事業	<p>目的：知的障がい児の余暇支援、保護者間交流、知的障がい者の社会参加。</p> <p>内容：地域の協力を得て、調理、工作、体操等の講座を行う。</p>	H30年3月29日(木) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日枝小学校高齢者疑似体験、車いす体験講座 (共催事業)	目的：小学生高学年を対象に、高齢者疑似体験、車いす体験を通して高齢者の身体状況を理解する。 内容：ケアプラザ職員と地区民生委員児童委員協議会が共同で子どもの体験をサポートする。	H29年7月1日(土) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
人と動物のふれあいクラブぬくぬく認知症サポーター養成講座 (共催事業)	目的：南区内で活動するボランティア団体「人と動物のふれあいクラブぬくぬく」の依頼により共催。「ぬくぬく」の加入者と地域住民を対象に、認知症への正しい知識と理解を深め、地域全体での見守りを高めていく。またセラピーアニマルの周知を図る。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H29年7月9日(日) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お三の宮地区認知症サポーター養成講座 (共催事業)	目的：地域住民を対象に、認知症への正しい知識と理解を深め、地域全体での見守りを高めていく。民生委員児童委員協議会との共催で実施。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H29年11月13日(月) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お三の宮地区・寿東部地区老人クラブ連合会女性部認知症サポーター養成講座 (共催事業)	目的：老人クラブ加入者を対象に、認知症への正しい知識と理解を深め、地域全体での見守りを高めていく。お三の宮・寿東部両地区の老人クラブ連合会女性部と共催で実施。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H29年12月8日(金) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座 (共催事業)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体での見守りを高める。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H30年1月10日(水) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座 (共催事業)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体での見守りを高める。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H30年1月12日(金) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お三の宮連合婦人部認知症サポーター養成講座 (共催事業)	目的：お三の宮地区の婦人部員を対象に、認知症への正しい知識と理解を深め、地域全体での見守りを高めていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H30年2月21日(水) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜公園通り式番館認知症サポーター養成講座 (共催事業)	目的：横浜公園通り式番館管理組合コミュニティ委員会の依頼により実施。高根町東町内会共催。横浜公園通り式番館と高根町住民を対象に、認知症への正しい知識と理解を深め、地域全体での見守りを高めていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	H30年2月24日(土) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 元気サロン おさんのみや 部(介護予防普及 強化業務委託)	目的：地域の身近な場における、住民主体での介護予防運動の実施支援 内容：4月から9月までは第1・3水曜日午後サニーステージで実施。10月13日～第2・4金曜日午後からクロスハート南へ変更。サニーステージは利用終了を希望しており、クロスハート南は活動主旨への理解も良かった。会場都合により活動日を水曜から金曜に変更。混乱もなく、スムーズに場所・日時変更。	4～9月：第1・3水曜日午後 10月～3月：第2・4金曜日午後 合計24回、延べ人数286人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 健康部	目的：介護予防体操及び介護予防に資する知識の普及啓発のための講座を、地域の身近な場で実施 内容：ハマトレを中心とした介護予防の体操、口腔ケア低栄養予防講座を、寿東部地区はエクセルシオール横浜阪東橋にて、お三の宮地区については日枝東部町内会館でそれぞれ実施。 また、尿失禁予防講座については浦舟地域ケアプラザ多目的ホールにて実施。	寿東部：6/26、7/3、7/10 お三の宮：10/12（お元気で健診）、10/19、11/2、11/9 尿失禁予防：11/27 延べ人数：83人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 地域活動部 (介護予防普及強化業務委託)	目的：地域の身近な場における、住民主体での介護予防運動を継続して実施するためのボランティア育成・支援 内容：7/24：桑田氏から、介護予防に関する総論及び具体的なストレッチ及び筋力トレーニングの実技指導を実施。 この運動の必要性、根拠に基づく理解が容易な説明の実施。 10/23：時任和子氏による、ボランティアが地域でいきいきと暮らすためのことについて解説。 自発性、公共性、先駆性、ボランティア活動から得られるもの、健康長寿について説明。グループワークで褒めること、相手の話に耳を傾けることを体験する等、体験を通じでボランティアの基本姿勢を楽しく学んだ。	7/24, 10/23 延べ人数：33人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふね介護者くらぶ	<p>目的：高齢者・障害者等の介護にあたる地域住民の家族介護者または、すでに介護を終えられた家族を対象とし、相互交流、相談・情報提供の機会を設けることにより、介護ストレスの軽減と継続的な介護者支援を行う。</p> <p>内容：毎回の平均参加は7.5人。茶話会形式でピアカウンセリング。懇談開始前にリラックス効果のある体操をDVDを見ながら行っている。</p>	毎月第2火曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
法テラスの弁護士による出前無料相談	<p>目的：法的トラブルの相談を身近にできることで、高齢者・障害者の相談者が抱える負担を軽減、解決できることを目的とする。</p> <p>内容：事前予約制。1名40分程度の相談時間。4名申込みのうち、当日キャンセル1名。相談主訴は①任意後見②相続③障害者の子への相続。</p>	6/30 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部活動 まなび部「やさしい介護食の紹介と試食」	<p>目的：①介護者としての食に関する苦労や困難の支援。 ②カタログ情報だけでは分からない情報を提供する。</p> <p>内容：管理栄養士の講話と、機能性食品等の試食。 参加者16名。</p>	7/28 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部活動 まなび部「介護・相続でもめない 損をしない」	<p>目的：相続についての、悩みや疑問に役立つ情報を聞くことで、早めの備えまたは、解決の一助となること。</p> <p>内容：司法書士の講話。終了時には、南区版エンディングノートの説明と配布。参加者19名。</p>	9/27 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「体を痛めない 楽々介護術」	<p>目的：介護者の心身の負担軽減に役立つ、介護技術情報の提供を行う。</p> <p>内容：講師は特養の介護福祉士5名。福祉用具を上手に使う方法や、椅子からベッド、ベッドから車いすへの移乗・体位交換等の介護法を講話と実践。</p> <p>参加者13名。</p>	11/29 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「知っています か、訪問入浴」	<p>目的：介護者の孤立を防ぎ、必要な時にスムーズにサービスが利用できるよう、介護者に役立つ情報を提供する。</p> <p>内容：訪問入浴事業所によるデモンストレーション。自宅を想定して、器材を持ち運ぶところから組み立て、入浴の実際を目の前で見学。参加者10名。</p>	12/5 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「弁護士さん のお話（2回シ リーズ）」	<p>目的：◎権利擁護に関する情報提供。 ・相続、遺言、成年後見制度を知ること各人の具体的な将来設計に役立つことを目的とする。</p> <p>内容：講師は弁護士。南区あんしんセンターとの共催事業。1回目は相続・遺言。2回目は成年後見制度についての講話。参加者延べ35名。</p>	①H30/2/1 ②2/8

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部	<p>目的：包括の職員が変わり、浦舟エリアのケアマネジャーの顔合わせを行い、顔の見える関係づくりを行う。</p> <p>内容：自己紹介で保有する資格や経歴、得意、不得意等を言い合い顔の見える関係作りの一歩となった。</p> <p>参加者 18名</p>	H129. 6. 30 全 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部 (福祉、介護関 係機関との連 携)	<p>目的：浦舟エリアのケアマネジャーと通所介護と顔合わせを行い、介護関係機関との連携強化を図る。</p> <p>内容：エリアの事業所間の連携強化と通所介護シートを作成し、ケアマネジャー支援を行った。</p> <p>参加者 28名</p>	H29. 7. 28 全 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部 (医療編)	<p>目的：地域のケアマネジャー、介護保険サービス事業所が医療面で抱え込まず相談できる場づくりを目指す。</p> <p>内容：協力医とケアマネジャーと自己紹介を行いケアマネジャーが普段抱えている医療面での悩みが気軽に相談できる体制を作った。</p> <p>参加者延べ 35名</p> <p>(・月 1 回協力医がケアプラザの来所の際に相談できることを周知した。参加者延べ 5名)</p>	H29. 8. 29 H30. 2. 20

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
慢性の痛みと基礎 (横浜市立大 学総合医療セン ターの地域連携 室と共催)	<p>目的：ペインクリニックの周知を行い、「慢性の痛みの基礎」を学ぶことで地域のケアマネジャー、医療、介護職が支援者として理解ができ業務に生かせる。</p> <p>内容：市民総合医療センターのペインクリニックの北原先生の講演。</p> <p>参加者 54名</p>	H30. 3. 23 全 1 回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 元気サロン おさんのみや 部(介護予防普及 強化業務委託)	目的：地域の身近な場における、住民主体での介護予防運動の実施支援 内容：4月から9月までは第1・3水曜日午後サニーステージで実施。10月13日～第2・4金曜日午後からクロスハート南へ変更。サニーステージは利用終了を希望しており、クロスハート南は活動主旨への理解も良かった。会場都合により活動日を水曜から金曜に変更。混乱もなく、スムーズに場所・日時変更。	4～9月：第1・3水曜日午後 10月～3月：第2・4金曜日午後 合計24回、延べ人数286人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 健康部	目的：介護予防体操及び介護予防に資する知識の普及啓発のための講座を、地域の身近な場で実施 内容：ハマトレを中心とした介護予防の体操、口腔ケア低栄養予防講座を、寿東部地区はエクセルシオール横浜阪東橋にて、お三の宮地区については日枝東部町内会館でそれぞれ実施。 また、尿失禁予防講座については浦舟地域ケアプラザ多目的ホールにて実施。	寿東部：6/26、7/3、7/10 お三の宮：10/12（お元気で健診）、10/19、11/2、11/9 尿失禁予防：11/27 延べ人数：83人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 地域活動部 (介護予防普及強化業務委託)	目的：地域の身近な場における、住民主体での介護予防運動を継続して実施するためのボランティア育成・支援 内容：7/24：桑田氏から、介護予防に関する総論及び具体的なストレッチ及び筋力トレーニングの実技指導を実施。 この運動の必要性、根拠に基づく理解が容易な説明の実施。 10/23：時任和子氏による、ボランティアが地域でいきいきと暮らすためのことについて解説。 自発性、公共性、先駆性、ボランティア活動から得られるもの、健康長寿について説明。グループワークで褒めること、相手の話に耳を傾けることを体験する等、体験を通じてボランティアの基本姿勢を楽しく学んだ。	7/24, 10/23 延べ人数：33人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うらふね介護者くらぶ	<p>目的：高齢者・障害者等の介護にあたる地域住民の家族介護者または、すでに介護を終えられた家族を対象とし、相互交流、相談・情報提供の機会を設けることにより、介護ストレスの軽減と継続的な介護者支援を行う。</p> <p>内容：毎回の平均参加は7.5人。茶話会形式でピアカウンセリング。懇談開始前にリラックス効果のある体操をDVDを見ながら行っている。</p>	毎月第2火曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
法テラスの弁護士による出前無料相談	<p>目的：法的トラブルの相談を身近にできることで、高齢者・障害者の相談者が抱える負担を軽減、解決できることを目的とする。</p> <p>内容：事前予約制。1名40分程度の相談時間。4名申込みのうち、当日キャンセル1名。相談主訴は①任意後見②相続③障害者の子への相続。</p>	6/30 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部活動 まなび部「やさしい介護食の紹介と試食」	<p>目的：①介護者としての食に関する苦労や困難の支援。 ②カタログ情報だけでは分からない情報を提供する。</p> <p>内容：管理栄養士の講話と、機能性食品等の試食。 参加者16名。</p>	7/28 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部活動 まなび部「介護・相続でもめない損をしない」	<p>目的：相続についての、悩みや疑問に役立つ情報を聞くことで、早めの備えまたは、解決の一助となること。</p> <p>内容：司法書士の講話。終了時には、南区版エンディングノートの説明と配布。参加者19名。</p>	9/27 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「体を痛めない 楽々介護術」	<p>目的：介護者の心身の負担軽減に役立つ、介護技術情報の提供を行う。</p> <p>内容：講師は特養の介護福祉士5名。福祉用具を上手に使う方法や、椅子からベッド、ベッドから車いすへの移乗・体位交換等の介護法を講話と実践。 参加者13名。</p>	11/29 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「知っていますか、訪問入浴」	<p>目的：介護者の孤立を防ぎ、必要な時にスムーズにサービスが利用できるよう、介護者に役立つ情報を提供する。</p> <p>内容：訪問入浴事業所によるデモンストレーション。自宅を想定して、器材を持ち運ぶところから組み立て、入浴の実際を目の前で見学。参加者10名。</p>	12/5 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 まなび部 「弁護士さんのお話（2回シリーズ）」	<p>目的：◎権利擁護に関する情報提供。 ・相続、遺言、成年後見制度を知ることで各人の具体的な将来設計に役立つことを目的とする。</p> <p>内容：講師は弁護士。南区あんしんセンターとの共催事業。1回目は相続・遺言。2回目は成年後見制度についての講話。参加者延べ35名。</p>	①H30/2/1 ②2/8

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部	<p>目的：包括の職員が変わり、浦舟エリアのケアマネジャーの顔合わせを行い、顔の見える関係づくりを行う。</p> <p>内容：自己紹介で保有する資格や経歴、得意、不得意等を言い合い顔の見える関係作りの一歩となった。</p> <p>参加者18名</p>	H129. 6. 30 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部 (福祉、介護関 係機関との連 携)	<p>目的：浦舟エリアのケアマネジャーと通所介護と顔合わせを行い、介護関係機関との連携強化を図る。</p> <p>内容：エリアの事業所間の連携強化と通所介護シートを作成し、ケアマネジャー支援を行った。</p> <p>参加者28名</p>	H29. 7. 28 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動 ケアマネ 部 (医療編)	<p>目的：地域のケアマネジャー、介護保険サービス事業所が医療面で抱え込まず相談できる場づくりを目指す。</p> <p>内容：協力医とケアマネジャーと自己紹介を行いケアマネジャーが普段抱えている医療面での悩みが気軽に相談できる体制を作った。</p> <p>参加者延べ35名 (・月1回協力医がケアプラザの来所の際に相談できることを周知した。参加者延べ5名)</p>	H29. 8. 29 H30. 2. 20

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
慢性の痛みと基礎（横浜市立大学総合医療センターの地域連携室と共催）	目的：ペインクリニックの周知を行い、「慢性の痛みの基礎」を学ぶことで地域のケアマネジャー、医療、介護職が支援者として理解ができ業務に生かせる。 内容：市民総合医療センターのペインクリニックの北原先生の講演。 参加者54名	H30.3.23 全1回

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **浦舟地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あつまれ！ハニービー	養育者及び乳幼児	29,038	地活	29,038	0	0	0	6,358	22,680
	518人		包括						
	0円		生活						
あつまれ！ハニーベイビー	養育者及び乳幼児	26,084	地活	26,084	0	0	5,568	5,396	15,120
	396人		包括						
	0円		生活						
PCルーム開放	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	120人		包括						
	0円		生活						
うらふねPC相談室	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	225人		包括						
	0円		生活						
歌声ひろば	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	738人		包括						
	0円		生活						
ふらっとうらふね	高齢者	32,192	地活	32,192	0	0	28,386	1,566	2,240
	224人		包括						
	0円		生活						
えんがわ倶楽部	地域住民	17,032	地活	17,032	0	0	0	4,152	12,880
	201人		包括						
	0円		生活						
うらふね脳の健康教室 (第19期)	高齢者	115,350	地活	29,350	86,000	0	0	10,310	105,040
	336人		包括						
	2000円/月		生活						
うらふね脳の健康教室 (第20期)	高齢者	106,306	地活	26,306	80,000	0	0	6,086	100,220
	154人		包括						
	2000円/月		生活						
シニア向けスマホ講座～ これから購入の方向け	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人		包括						
	0円		生活						
精神疾患にかかわるご 家族・支援者のためのコ ミュニケーション講座	事業者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括						
	0円		生活						
よこはまシニアボランティ アポイント登録研修会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	5人		包括						
	0円		生活						
うらふね納涼祭	地域住民	135,189	地活	37,739	0	97,450	0	130,340	4,849
	750人		包括						
	0円		生活						
レインボーフェスタ	地域住民	1,075	地活	1,075	0	0	0	1,075	0
	900人		包括						
	0円		生活						
大判焼きを焼いてみよ う！	地域住民	5,085	地活	3,485	1,600	0	0	5,085	0
	8人		包括						
	200円		生活						
生活支援学習会	障害者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	25人		包括						
	0円		生活						
年末大掃除大会	地域住民	7,637	地活	7,637	0	0	0	7,637	0
	58人		包括						
	0円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額											
	②参加人数	総経費	収入			支出							
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他					
打楽器コンサート ころろに響く打楽器作っちゃお♪	養育者及び乳幼児	11,137	地活	7,937	3,200	0	11,137	0	0				
	32人		包括										
	200円		生活										
浦舟おとなの部活動 たのしみ部 「ケアプラザで餃子パーティー」	地域住民	9,191	地活	7,091	2,100	0	0	8,071	1,120				
	8人		包括										
	300円		生活										
ころろの風邪「うつ」について	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0				
	13人		包括										
	0円		生活										
南区ボランティアフェスタ	地域住民	28,950	地活	15,850	0	13,100	0	28,950	0				
	643人		包括										
	0円		生活										
やさしい障がい理解講座 2017inみなみ Part.2「知的障がい・発達障がいを知ろう」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0				
	11人		包括										
	0円		生活										
ボランティア交流会	地域住民	72,161	地活	72,161	0	0	0	64,541	7,620				
	40人		包括										
	0円		生活										
Ciao! 障がい児余暇支援事業	障害者	6,393	地活	5,393	1,000	0	0	5,833	560				
	2人		包括										
	500円		生活										
日枝小学校高齢者疑似体験、車いす体験講座 (共催事業)	子ども・青少年	1,513	地活	756	0	0	0	756	0				
	25人		包括	757						0	0	757	0
	0円		生活										
人と動物のふれあいクラブぬくぬく認知症サポーター養成講座 (共催事業)	地域住民	0	地活										
	45人		包括										
	0円		生活										
お三の宮地区認知症サポーター養成講座 (共催事業)	地域住民	0	地活										
	25人		包括										
	0円		生活										
お三の宮地区・寿東部地区老人クラブ連合会女性部認知症サポーター養成講座 (共催事業)	高齢者	0	地活										
	62人		包括										
	0円		生活										
日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座 (共催事業)	子ども・青少年	0	地活										
	113人		包括										
	0円		生活										
南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座 (共催事業)	子ども・青少年	0	地活										
	151人		包括										
	0円		生活										
お三の宮連合婦人部認知症サポーター養成講座 (共催事業)	地域住民	0	地活										
	25人		包括										
	0円		生活										
横浜公園通り貳番館認知症サポーター養成講座 (共催事業)	地域住民	0	地活										
	23人		包括										
	0円		生活										
		604,333	合計	319883	173900	110550	45091	286913	272329				

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **浦舟地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うらふね介護者くらぶ	介護者、介護経験者、要介護者	6,542	地活	0	0	0	6,542	0	
	90		包括						6,542
	0		生活						
法テラスの弁護士による 出前無料相談	高齢者・障害者本人・家族	0	地活	0	0	0	0	0	
	3		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 まなび部「やさしい介護 食の紹介と試食」	介護者、高齢者本人	560	地活	0	0	0	0	560	
	16		包括						560
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 まなび部「介護・相続でも めない 損をしない」	高齢者・障害者本人・家族	0	地活	0	0	0	0	0	
	19		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 まなび部「体を痛めない 楽々介護術」	介護者	560	地活	0	0	0	0	560	
	13		包括						560
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 まなび部「知っています か、訪問入浴」	介護者・ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	
	10		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 まなび部「弁護士さんのお話 (2回シリーズ)」	高齢者・障害者・家族	0	地活	0	0	0	0	0	
	35		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 ケアマネ部	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	
	18		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 ケアマネ部 (福祉、介護関係機関との 連携)	ケアマネジャー 通所介護	0	地活	0	0	0	0	0	
	28		包括						0
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 ケアマネ部(医療編)	協力医 ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	
	35		包括						0
	0		生活						
慢性の痛みと基礎(共 催)	ケアマネジャー 医療、福祉	0	地活	0	0	0	0	0	
	54		包括						0
	0		生活						
		7,662	合計	7,662	0	0	0	6,542	1,120

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

浦舟地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
浦舟おとなの部活動 元気サロンおさんのみや部 (介護予防普及強化業務委託)	65歳以上の住民	39,434	地活	0	0	20,000	5,994	13,440	
	286		予防						39,434
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 健康部	65歳以上の地域住民	78,815	地活	0	0	62,972	11,923	3,920	
	83		予防						78,815
	0		生活						
浦舟おとなの部活動 地域活動部 (介護予防普及強化業務委託)	介護予防ボランティア	33,320	地活	0	569	32,200	0	1,120	
	33		予防						32,751
	0		生活						
		151,569	合計	151,000	0	569	115,172	17,917	18,480

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

浦舟地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うらふね交流スペース	地域住民	33,049	地活	33,049	0	0	0	16,249	16,800
	287名		包括						
	0円		生活						
災害時の食～保存食の 上手な活用レシピ～	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19名		包括						
	0円		生活						
暮らしの懇談会①～自然 災害から命を守る安 全な家屋とは～	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	14名		包括						
	0円		生活						
暮らしの懇談会②～自 分も地域も元気になろう ボランティア活動のす すめ～	地域住民	560	地活	560	0	0	0	0	560
	8名		包括						
	0円		生活						
暮らしの懇談会③～お 困りごとちょこっと相談会 ～	地域住民	560	地活	560	0	0	0	0	560
	6名		包括						
	0円		生活						
お三の宮地区支え合い のまちづくり推進連絡会 ①	地域住民	4,129	地活	4,129	0	0	0	0	4,129
	21名		包括						
	0円		生活						
お三の宮地区支え合い のまちづくり推進連絡会 ②	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	14名		包括						
	0円		生活						
お三の宮地区支え合い のまちづくり推進連絡会 ③	地域住民	2,808	地活	2,808	0	0	0	2,808	0
	13名		包括						
	0円		生活						
		41,106	合計	41,106	0	0	0	19,057	22,049